

プログラム

2月23日（金）

9:30 ~ 10:30

JSTAR 理事会

10:30 ~ 11:50

JMOG 幹事会

12:00 ~ 13:00

ランチョンセミナー 1

共催：大鵬薬品工業株式会社

座長：平賀 博明（独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター
サルコーマセンター センター長 骨軟部腫瘍科）

LS1

Addressing the risk of localized STS of the extremities and retroperitoneum:
present perspectives and future directions.

Department of Surgery Fondazione IRCCS Istituto Nazionale dei Tumori Milan
Alessandro Gronchi

13:25 ~ 13:30

開会式・会長挨拶

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 川井 章

13:30 ~ 16:00

Multidisciplinary Discussion

座長：川井 章 (国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

高橋 俊二 (がん研究会有明病院 総合腫瘍科)

それぞれの視点から見た肉腫

MD-1 整形外科医から見た肉腫治療の変遷と今後の課題

市立芦屋病院 荒木 信人

MD-2 泌尿器科医から見た肉腫治療の現状と課題

筑波大学 医学医療系 腎泌尿器外科 西山 博之

MD-3 皮膚科領域で扱う肉腫の現状と課題

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 山崎 直也

MD-4 腫瘍内科医から見た肉腫

愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部 安藤 正志

MD-5 小児肉腫の治療と包括ケア ～子ども達の未来のために～

国立がん研究センター東病院 小児腫瘍科 細野 亜古

MD-6 患者から見た肉腫診療の現状と課題

肉腫 (サルコーマ) の会たんぽぽ 押田 輝美

16:15 ~ 17:15

スポンサードセミナー 1

共催：日本イーライリリー株式会社

座長：西田 俊朗 (国立がん研究センター中央病院)

SS1 悪性軟部腫瘍のよりよい治療をめざして：諸外国の現状に学ぶ
For Better Treatment of Soft Tissue Sarcoma (STS):
Learnings from the Experts in the Foreign Countries

Division of Medical Oncology, National Cancer Centre,
Senior Consultant/Deputy Head, Singapore

Richard Hong Hui Quek

Department of Clinical Oncology,
The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong

Herbert HF Loong

Department of Oncology, National Taiwan University Hospital, Taiwan

Tom Wei-Wu Chen

17:30 ~ 18:30

スポンサードセミナー 2

共催：エーザイ株式会社

座長：石井 猛 (千葉県がんセンター)

SS2 Delvelopments in treatment of soft tissue sarcoma

Department of Medicine, Sarcoma Service

Memorial Sloan Kettering Cancer Center **William D Tap**

2月24日(土)

8:30 ~ 9:30

モーニングセミナー

共催：オンコセラピー・サイエンス株式会社

座長：細井 創 (京都府立医科大学 小児科学/小児科学教室)

MS 包括的ゲノム解析による滑膜肉腫治療標的分子の同定から治療薬開発とその展望
Development of novel targeted therapy for synovial sarcoma: present and future

徳島大学 先端酵素学研究所 プロテオゲノム研究領域 ゲノム制御学分野 片桐 豊雅

9:45 ~ 11:00

特別企画 1

座長：松田 浩一 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科)

堀内 圭輔 (防衛医科大学校病院 整形外科)

肉腫の基礎を考える

SP1-1 実例から考える肉腫分類学の変化

国立がん研究センター中央病院 病理科 吉田 朗彦

SP1-2 肉腫の患者由来がんモデルの開発と応用

国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野 近藤 格

SP1-3 多能性幹細胞の肉腫研究への応用

京都大学ウイルス・再生医科学研究所/iPS細胞研究所 戸口田 淳也

11:15 ~ 12:45

特別企画2

座長：佐瀬 一洋（順天堂大学大学院 医学研究科 臨床薬理学）
角 美奈子（がん研究会有明病院 放射線治療科）

肉腫の新規治療を考える

SP2-1 希少ながんの臨床開発の新たな展開

国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 米盛 勸

SP2-2 肉腫に対するNY-ESO-1を標的とした新規免疫治療の開発

九州大学 整形外科 遠藤 誠

SP2-3 体内空間可変粒子線治療—生体吸収性スパーサーの新規開発

神戸大学医学部附属病院 放射線腫瘍科 佐々木良平

SP2-4 ベイズ流アプローチを用いる希少疾病の臨床試験

東京大学大学院 医学系研究科 生物統計情報学講座 坂巻顕太郎

13:05 ~ 14:05

ランチョンセミナー2

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

座長：安藤 雄一（名古屋大学医学部附属病院 化学療法部）

LS2 STS Treatment Update : Now and Future

Sarcoma Unit, Royal Marsden Hospital and Sarcoma Clinical Trials,
The Institute of Cancer Research, London, UK

Robin L. Jones

14:10 ~ 14:40

JSTAR 評議員総会

座長：川井 章（国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科）
高橋 俊二（がん研究会有明病院 総合腫瘍科）
上田 孝文（国立病院機構大阪医療センター 整形外科）

14:50 ~ 17:20

JSTAR Sarcoma Conference チーム対抗戦！

肉腫に対する集学的アプローチを学会の骨子とするJSTAR学術集会ならではの目玉セッションとして、「JSTAR Sarcoma Conference」を企画しました。これは一言で言うと、肉腫の集学的治療に積極的に取り組んでおられる各施設で行っているサルコーマカンファレンス（Sarcoma Multi-Disciplinary Team conference）をJSTARの学会場でやっぴてしまおう、という企画です。治療方針の決定に難渋した症例、興味深い症例、教訓的な症例を各施設の先生方にご提示いただき、その診断、治療方針、問題点などに関する議論を、参加型端末を使った双方向型セッションとして参加者全員で行いたいと考えています。参加者の皆様がそれぞれの経験とエビデンスを共有し、大いに議論する中から、肉腫診療の明日の姿を見つけていただければと思います。

会長 川井 章

座長：南 博信（神戸大学 内科学講座 腫瘍・血液内科学）

上田 孝文（国立病院機構大阪医療センター 整形外科）

治療困難な肉腫に対する集学的アプローチ

チーム：NCCH 《国立がんセンター中央病院》

小林 英介
野口 瑛美
荒川 歩

がん研サルコーマセンター 《がん研究会有明病院》

高橋 俊二
仲野 兼司

NEST (Nagoya End Sarcoma Team) 《名古屋大学・名古屋医療センター》

西田 佳弘
下方 智也
秋田 直洋

岡山大学サルコーマセンター 《岡山大学》

国定 俊之
田端 雅弘

17:20 ~ 17:35

閉会式

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 川井 章

一般演題 (ポスターセッション)

1. 基礎研究・TR

- P1-1** RNA sequenceを用いた骨におけるp53標的遺伝子の同定
東京大学大学院 整形外科 津田 祐輔
- P1-2** AKT阻害剤併用エリブリン療法の軟部肉腫に対する抗腫瘍効果の検討
札幌医科大学 腫瘍内科 高田 弘一
- P1-3** ヒト変異型IDH1/IDH2発現肉腫マウスモデルの確立
東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター シークエンス技術開発分野、
Developmental and Stem Cell Biology, Hospital for Sick Children,
Toronto ON, Canada 平田 真
- P1-4** 軟骨肉腫に対するIDH変異を標的とした分子標的治療の開発
国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍研究分野、九州大学 整形外科 中川 亮
- P1-5** 骨肉腫におけるmicroRNA-25-3pの機能解析
岡山大学 整形外科 吉田 晶
- P1-6** Ewing-like sarcoma細胞株樹立と新規融合遺伝子の解析
大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学 (整形外科) 安田 直弘
- P1-7** EPHB4受容体高発現横紋筋肉腫を標的とした新規キメラ抗原受容体T細胞療法の開発
京都府立医科大学大学院 医学研究科 小児科学 柳生 茂希
- P1-8** Ewing肉腫原因遺伝子EWS-FLI1のクロマチンリモデリング機能とFOXQ1との協調作用
がん研究会がん研究所 発がん研究部、
北海道大学大学院歯学研究院 口腔診断内科 清水 六花
- P1-9** 血清マイクロRNAを利用した骨軟部肉腫診断法の開発
慶應義塾大学 整形外科、国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野 浅野 尚文
- P1-10** microRNAの横紋筋肉腫における治療効果
岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科 杉戸 信彦
- P1-11** 経皮炭酸ガス吸収は乳癌骨転移モデルの骨破壊を抑制する
神戸大学大学院 整形外科 竹森 俊幸
- P1-12** 胞巣状軟部肉腫の原因融合遺伝子ASPL-TFE3の転写制御機構
がん研究会がん研究所 発がん研究部 田中 美和

P1-13 マウスモデルを用いたCIC-DUX4肉腫のバイオマーカー、治療標的分子、有用な阻害剤の探索

がん研究会がん研究所 発がん研究部、虎の門病院 病理部 吉本 豊毅

2. 診断

P2-1 Deep Learningを用いた骨腫瘍におけるAI画像診断の試み

広島大学 整形外科 久保 忠彦

P2-2 脊椎脊索腫の自然史の解析

新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 整形外科、
新潟大学大学院 整形外科学分野 生越 章

P2-3 軟部腫瘍の超音波画像診断

大阪市立大学大学院 医学部 整形外科学 大戎 直人

P2-4 傍精巣脱分化型脂肪肉腫の1例

神戸大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科、
加古川中央市民病院 腫瘍・血液内科 須藤 洋崇

P2-5 大腿部軟部組織に発生したPEComaの一例

福井大学 整形外科 出淵 雄哉

P2-6 骨軟部腫瘍が疑われた組織球肉腫の4例

新潟県立がんセンター新潟病院 佐々木太郎

P2-7 軟部肉腫において早期のリンパ節転移は予後不良である

札幌医科大学 整形外科 江森 誠人

P2-8 粘液型脂肪肉腫転移出現時の予後因子 ～多施設共同研究(HOPES008)～

東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科 篠田 裕介

3. 内科的治療

P3-1 難治性滑膜肉腫に対するNY-ESO-1抗原特異的TCR遺伝子改変T細胞輸注療法後のサイトカイン放出症候群

三重大学医学部附属病院 がんセンター 石原 幹也

P3-2 好中球・リンパ球比は、軟部肉腫進行例におけるPazopanibの早期治療効果判定に有用である

東京大学医学部附属病院 小林 寛

- P3-3** 原発性仙骨脊索腫に対する根治的陽子線治療
兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター 放射線治療科 出水 祐介
- P3-4** 化学療法既治療の進行悪性軟部肉腫に対する新規抗がん薬エリブリン単剤療法の有効性と安全性の検討
北海道大学大学院医学研究院 腫瘍内科学教室 竹内 啓
- P3-5** 切除困難なデスモイド型線維腫症に対するパゾパニブの有用性の検討
防衛医科大学校 整形外科科学講座 須佐美知郎
- P3-6** エリブリンにより腫瘍縮小を認めた脱分化型脂肪肉腫の3例
大阪国際がんセンター 整形外科 伊村 慶紀
- P3-7** 骨軟部悪性腫瘍におけるGemcitabineとDocetaxel併用療法についての検討
愛知県がんセンター中央病院 吉田 雅博
- P3-8** 進行性平滑筋肉腫の臨床的特徴
愛知県がんセンター中央病院 整形外科部 小澤 英史
- P3-9** A retrospective analysis of efficacy and safety of olaratumab + doxorubicin or doxorubicin alone in patients with uterine leiomyosarcoma.
Medicines Developmet Unit-Japan Oncology, Eli Lilly Japan K.K. Tajimi Masaomi
- P3-10** 高悪性度非円形細胞軟部肉腫に対する化学療法の有用性と安全性の検討～特に進行期症例と高齢患者について
がん・感染症センター都立駒込病院 骨軟部腫瘍科 大隈 知威
- P3-11** 子宮平滑筋肉腫に対する実臨床でのドキソルビシンの有効性
埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 花岡美枝子
- P3-12** 悪性軟部腫瘍に対するエリブリンの組織型別有効性に関する後方視的解析
東北大学 加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野、東北大学病院 腫瘍内科 山田 英晴
- P3-13** Phase 1 study of olaratumab plus doxorubicin in Japanese patients with advanced soft tissue sarcoma
Department of Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research Nakano Kenji
- P3-14** 肉腫を中心とした希少がんに対する医師主導治験
埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科、国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 西川 忠暁
- P3-15** 再発・難治性小児悪性骨軟部腫瘍に対するゲムシタビン（GEM）＋ドセタキセル（DTX）併用療法
東北大学病院 小児科 力石 健

P3-16 骨外性骨肉腫に対するイホマイド+ドキシソルビシン併用化学療法の有用性の検討

大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学、
神戸掖済会病院 整形外科 若松 透

P3-17 高齢者悪性軟部腫瘍患者に対する化学療法の治療成績

千葉県がんセンター 整形外科 鴨田 博人

4. 外科的治療

P4-1 Malignant woundを呈した肉腫症例の臨床像

大阪市立大学大学院 医学研究科 整形外科教室 星 学

P4-2 四肢の脱分化型脂肪肉腫の治療成績

岡山大学 整形外科 中田 英二

P4-3 滑膜肉腫に対する術前補助療法の治療成績の検討
～日本整形外科学会骨軟部腫瘍登録データベースを用いた解析～

金沢大学 整形外科、名古屋市立大学 整形外科 相羽 久輝

P4-4 悪性軟部腫瘍に対する温熱併用放射線化学療法の成績
～全国骨軟部腫瘍登録との比較検討～

名古屋市立大学 整形外科、金沢大学 整形外科 相羽 久輝

P4-5 筑波大学附属病院における20年間の後腹膜ならびに泌尿器科肉腫の診断ならびに治療成績

筑波大学 医学医療系 腎泌尿器外科 木村 友和

P4-6 CT navigation(iCT)支援下悪性骨軟部腫瘍手術

社会医療法人生長会府中病院 整形外科 家口 尚

P4-7 胸壁合併切除を要した骨軟部腫瘍の治療成績

東海大学 医学部 外科学系 整形外科 渡邊 拓也

P4-8 後腹膜脂肪肉腫の治療成績

がん研究会有明病院 整形外科 早川 景子

P4-9 小児動脈瘤様骨嚢腫に対する術中無水エタノール処理の有効性

東北大学 整形外科 吉田新一郎

P4-10 軟部肉腫に対するunplanned excisionの臨床的検討

大阪市立大学大学院 医学研究科 形成外科学、
国立がん研究センター東病院 形成外科 前田 周作

P4-11 頭皮顔面皮膚血管肉腫に対するパクリタキセル・手術・IMRTを用いた集学的治療

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 並川健二郎

P4-12 骨軟部腫瘍切除後の広背筋皮弁の手術成績

鳥取大学 整形外科 山家 健作

5. その他

P5-1 小児・思春期および若年成人（AYA世代）の骨盤部肉腫の女性患者における妊娠・出産について

千葉県がんセンター 整形外科 米本 司

P5-2 明細胞肉腫に対するホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)の適応に関するアンケート調査結果

兵庫県立がんセンター 整形外科 藤本 卓也

P5-3 九州がんセンターにおけるサルコーマボード

国立病院機構九州がんセンター 泌尿器科 根岸 孝仁

P5-4 軟部肉腫の年齢による予後の違いとその因子

愛媛大学大学院 医学系研究科 整形外科学 藤渕 剛次

P5-5 小児期発症肉腫に対する陽子線の治療経験

名古屋大学 整形外科、名古屋市立西部医療センター 陽子線治療科、
名古屋医療センター 小児科 新井 英介

P5-6 The Sarcoma Policy Checklist - focusing policy efforts on sarcoma

Medicines Developmet Unit-Japan Oncology, Eli Lilly Japan K.K. Drove Nora

P5-7 稀ながんの患者会として～ GISTERS活動報告～

NPO法人GISTERS 櫻井 公恵

P5-8 「ユース肉腫家族の会」の10年

ユース肉腫家族の会、小児がん患者会ネットワーク、
がんの子どもを守る会会員 有國美恵子

P5-9 「肉腫（サルコーマ）の会たんぽぽ」の活動について

肉腫（サルコーマ）の会たんぽぽ 押田 輝美

P5-10 高知県の骨軟部肉腫診療の現状と課題

高知医療センター 整形外科 沼本 邦彦

一般演題 (Abstract Only)

1. 基礎研究・TR

A1-1 淡明細胞肉腫に対するEribulin mesilateの抗腫瘍効果

大阪大学 医学系研究科 器官制御外科学 中井 翔

A1-2 プロテオミクス解析により同定した粘液線維肉腫の浸潤性評価バイオマーカー候補DCBLD2

慶應義塾大学 医学部 整形外科学教室、
国立がん研究センター 希少がん研究分野、国立がん研究センター 骨軟部腫瘍科 菊田 一貴

A1-3 プテロスチルベンは、ミトコンドリア代謝を修飾し骨肉腫細胞の幹細胞形質を抑制する

奈良県立医科大学 整形外科、奈良県立医科大学 分子病理学 岸 真五

A1-4 胞巣型横紋筋肉腫細胞株の筋最終分化誘導

京都府立医科大学 小児科学教室、宇治武田病院 小児科 菊地 顕

A1-5 平滑筋肉腫における腫瘍免疫環境と予後との関連

新潟大学 整形外科 大池 直樹

A1-6 がん細胞由来分泌型マイクロRNAによる骨転移微小環境制御機構

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 細胞生理学分野、
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 整形外科学分野 佐藤 信吾

A1-7 肉腫における腫瘍浸潤Tリンパ球の解析

がん研究会有明病院 総合腫瘍科 佐藤 靖祥

A1-8 脱分化型脂肪肉腫におけるDNAメチル化の不均一性

国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野、
慶應義塾大学 整形外科学教室 高松 広周

A1-9 肉腫におけるパゾパニブの奏効性予測バイオマーカーの開発および新しい治療標的の探索

国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野 喬 志偉

2. 診断

A2-1 大腿骨転子部に生じたEwing's tumor like adamantinomaの1例

長崎医療センター 整形外科、長崎大学病院 整形外科 熊谷 謙治

A2-2 痛み・しびれは肉腫初診時見逃しの危険因子である

東北大学病院 綿貫 宗則

A2-3 脂肪腫、異型脂肪腫様腫瘍、脱分化型脂肪肉腫におけるFDG-PETの有用性

琉球大学大学院 医学研究科 整形外科科学講座 當銘 保則

A2-5 当院におけるサルコーマセンター開設前後の患者受診行動の変化についての検討

愛知県がんセンター中央病院 整形外科部 林 卓馬

A2-6 軟部肉腫の超音波評価と悪性度との関連

弘前大学大学院 医学研究科 整形外科科学講座、
つがる西北五広域連合つがる総合病院 整形外科 大鹿 周佐

3. 内科的治療

A3-1 エリブリンで腫瘍縮小を認めた粘液線維肉腫肺転移の2例

三重大学 整形外科 中村 知樹

A3-2 トラベクテジンの血管外漏出初期は無痛で気づきにくい：広範な植皮を要した症例

大阪大学 整形外科 竹中 聡

A3-3 当院における悪性軟部腫瘍に対するエリブリンの使用経験

大阪市立大学 整形外科 岩井 正

A3-4 仙骨ユーイング肉腫に対して陽子線化学療法治療後に白血病を発症した一例

浜松医科大学 整形外科 紫藤 洋二

A3-5 エリブリンを用いた軟部肉腫に対する外来化学療法の小経験

長崎大学 整形外科 富田 雅人

A3-6 子宮平滑筋肉腫に対する化学療法 -増悪に対して複数のレジメンを使用した1例-

四国がんセンター 藤本 悦子

A3-7 エリブリン投与により、病勢のコントロールが得られている粘液型脂肪肉腫多発骨転移の1例

東京歯科大学市川総合病院 整形外科 渡部 逸央

A3-9 TC療法は無効であったが、AI療法が奏効した卵巣癌肉腫の一例

石巻赤十字病院 腫瘍内科 大堀 久詔

A3-10 後腹膜脂肪肉腫切除術で合併片腎摘後再発症例に対するトラベクテジン投与後に横紋筋融解を認めた1例

四国がんセンター 骨軟部腫瘍整形外科 杉原 進介

A3-12 当院における悪性軟部肉腫症例の化学療法に関する現況

名古屋第二赤十字病院 薬物療法内科 柴田 剛志

A3-13 デノスマブ投与中に悪性転化した恥骨の骨巨細胞腫の1例

奈良県立医科大学 整形外科 塚本 真治

4. 外科的治療

A4-1 脛骨骨肉腫の人工関節感染に対してModified膝回転形成術を施行した一例

千葉県がんセンター 整形外科 嶋田 洋平

A4-2 下腿後面の悪性軟部腫瘍に対して術前化学療法・放射線治療を施行した治療経験

大阪医療センター 整形外科 角永 茂樹

A4-3 初診時転移を有する軟部肉腫に対する原発巣切除の意義

大阪大学大学院 医学系研究科 整形外科 王谷 英達

A4-5 肘部悪性腫瘍広範切除術後、上腕三頭筋腱を用いて肘関節安定性を得た1例

岩手医科大学 整形外科 多田 広志

A4-6 大腿骨近位発生骨巨細胞腫術後再発例の検討

奈良県立医科大学附属病院 整形外科 藤井 宏真

A4-7 軟部腫瘍に対するcryoablationの画像評価と病理組織評価

三重大学 医学部 整形外科 浅沼 邦洋

A4-8 若年女性の鼠径部に生じた巨大隆起性皮膚線維肉腫の1例

順天堂大学浦安病院 形成外科・再建外科 福田 太郎

A4-9 必要かつ十分な広範囲切除を行なった隆起性皮膚線維肉腫に対し遊離皮弁移植による再建術を行なった2例

防衛医科大学校病院 形成外科 長野 寿人

A4-10 後脛骨・腓骨動静脈および脛骨神経合併切除を要した腓腹部軟部悪性腫瘍の術後患肢機能

千葉県がんセンター 整形外科 塚西 敏則

A4-11 深部に発生した軟部腫瘍における腫瘍切除術後創部合併症

帝京大学医学部附属病院 整形外科 藤沼 渉

5. その他

A5-1 悪性軟部腫瘍肺転移により難治性気胸を呈した2例

愛知県がんセンター 愛知病院 藤戸 健雄

A5-2 軟部腫瘍の生検における超音波ガイド下神経ブロックの有効性

労働者健康安全機構 九州労災病院 前川 啓

A5-3 異時性・多発性悪性骨腫瘍が生じたRothmund-Thomson症候群の一例

帝京大学附属溝口病院 整形外科 三木 勇治

A5-5 肺原発滑膜肉腫の2例

新潟大学大学院 整形外科 山岸 哲郎

A5-6 骨軟部腫瘍への強度変調放射線治療 (IMRT) および画像誘導放射線治療 (IGRT)

野崎徳洲会病院 放射線治療科、
大阪大学大学院 医学系研究科 医用物理学 小泉 雅彦

A5-8 骨梗塞部に発生した大腿骨遠位続発性骨肉腫の1例

山形大学 医学部 整形外科学講座 菅原 正登